

第8期介護保険事業計画における給付費等の推計について

第7期計画では、本市の65歳以上人口を119,269人(3年間累計)と見込み、高齢化率は22.9%と推計していました。第7期計画の実績見込みでは、65歳以上人口は121,861人、高齢化率は23.3%です。

第8期計画では、65歳以上人口を125,195人、高齢化率を23.7%と見込んでおり、第7期計画との比較では、65歳以上人口が5,926人、5.0%の増加となり、高齢化率も0.8ポイント増加し、今後も高齢化が進んでいくものと推計しています。

このような状況を踏まえ、また施設サービス及び地域密着型サービスの整備計画を勘案しサービス見込量を推計しました。

〔給付費等の推計〕

1. 第1号被保険者数及び認定者数の推計

「習志野市人口推計結果報告書」(令和元年6月作成)を利用

(単位：人)

	R1(実績)	R2(見込)	R3(推計)	R4(推計)	R5(推計)
被保険者数	40,679	41,180	41,485	41,694	42,016
認定者数	6,912	7,121	7,475	7,814	8,125
認定率	17.0%	17.3%	18.0%	18.7%	19.3%

2. 介護保険給付費の推計値

令和2年度の各サービスの給付費等を見込み、そこで算出された認定率、利用率等が令和3年度以降も続くものとして利用し推計値を算出します。

それに施設整備等の施策分を追加したものが計画値になります。

371億3千2万円(介護保険給付費)

= 353億3千539万円(自然体推計値)

+ 12億549万円(施設整備予定分)

+ 2億7千848万円(医療計画との整合性の確保を踏まえたサービス整備分)

+ 3億2千413万円(介護離職ゼロに向けたサービス整備分)

- 2億4千631万円(財政影響額分)

+ 2億3千284万円(介護報酬改定分(+0.67%))

3. 保険料基準額の算定

令和3年度から令和5年度までの3年間で推計した介護保険給付費371億円と地域支援事業費20億円を合せた391億円をもとに保険料を算出しますが、保険料の急激な上昇を抑えるため、介護給付費準備基金積立金を活用し保険料を第7期と同額とする予定です。

第8期介護保険基準月額 64, 570円（月額5, 381円）